

成果指標				
成果指標	金融難を緩和し、企業の育成及び経営の安定と近代化に努める。			
指標設定の考え方	融資件数により、中小企業の経営状況の把握を行う。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標22年度
目 標	10	6	0	0
実 績	4	5	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	中小企業の経営の安定化を図るため、金融機関と連携協力するとともに、HPや広報紙等により、広く周知を図る。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	中小企業の経営安定には必要な事業であり、金融機関と連携を深め、制度周知に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題